

みどりの翼

特集 あったかーい

今年は暖冬だっていうけど、
冬だもの
あったかいものがほしくなるよね

2020年1月 Vol. 69



なのビィ



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

☆新着図書・この本読んで！☆

できないって、きめつけてない？

「はぐれくん、おおきなマルにであう」

シエル・シルヴァスタイン／作 あすなる書房 2019年 E/3 リーンズ



はぐれくんは、自分がぴったりおさまる誰かを求めている。そのひとが自分をどこかへ連れていってくれると期待して。でも、うまくいかない。そんなとき出会った、おおきなマルは、はぐれくんが思ってもみなかったことを言う。「でもきみは たぶん じぶんだけでころがれるよ」『ぼくを探しに』の続編が、村上春樹さんの新訳で登場。

自分が好きなこと、恥ずかしいって思わないで！

「ぼくのまつり縫い」

神戸遥真／作 偕成社 2019年 913/1 リーンズ



中学生の針宮優人は裁縫が大好きな男の子。そのことを誰にも言えず、友達に流されるままサッカー部へ入部することに。ある日、ケガで部活を休んでいた優人は、教室で自分のズボンのすそ上げをなおしていた。そこへやってきたのが同じクラスの糸井で、裁縫をしていた優人をひと目見るなり、被服部へ強引に連れて行かれ、助っ人を頼まれてしまい…。

スマホを便利に使いこなそう！

「iPhone芸人かじがや卓哉の今度はスゴいスマホ」

かじがや卓哉／著 インプレス 2019年 694.6/1 リーンズ



「iPhone芸人」として有名なかじがや卓哉さんが、ついにAndroidを賢く利用するための本を出してくれたぞ！バッテリーの持ちをよくする、画面のカスタマイズなどの基本的なことも、写真付きで解説してくれているので分かりやすい。GoogleやLINEの活用法など、覚えておくと快適なスマホ生活を送れそう(*^_^*)

予告：次号の特集は「冒険小説」です。お楽しみに♪

あたたかな涙であふれます…。

「桜風堂ものがたり 上・下」

村山早紀／著 PHP研究所 2019年 913.6/47 ラインズ



書店員の月原一整は、ある事件をきっかけに十年間務めた職場を離れることに。彼の一番の心残りには『四月の魚』という本を自分の手で売れなくなることだった。

傷ついた彼は、ネットで知り合った田舎町の書店「桜風堂」の店主を訪ねることにする…。続編『星をつなぐ手』も合わせてどうぞ！

予告：終盤でとんでん返します

「小公子」

フランシス・ホジソン・バーネット／作 岩波書店 2011年 933/11 児童

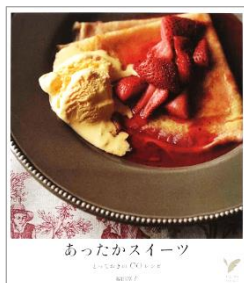


アメリカで母と二人で暮らすセドリックは突然、大きなお城や領地の跡継ぎとなります。ラッキーに思えますが、これがなかなか複雑。跡を継ぐのは亡くなったイギリス人のお父さんの生家。当時のイギリスの人々は、独立したアメリカのことを良く思っていないでした。もちろん当主のお祖父さんも。でも、安心して読んでみて下さい。セドリックなら大丈夫なんです。そう、私も見習おう…

はふはふのスイーツをおうちで！自分で！

「あったかスイーツ とっておきの60レシピ」

福田淳子／著 主婦の友社 2011年 596.65/7 一般



作業工程の写真が少なめで、むずかしいかも…と思ったけど、作り方を読んでみるとイメージしにくい作業はないし、手順も少ない。そこで、一番材料の少ないフルーツドームスフレに挑戦してみました。ふわふわトロトロ熱々で、おいしかったです。カフェでは見かけないし、ケーキ屋さんでも熱々スイーツなんてないから、自分で焼かなきゃ食べられないね。

その人のための一皿を…まるで料理の探偵

「スープの国のお姫様」

樋口直哉／著 小学館 2014年 913.6/174 リーナス



別れた彼女が僕に紹介してくれた仕事は、古い洋館に住むマダムに夕食のスープをつくることだった。

ある日、客人の思い出の味「ポタージュ・ボンファミ」を頼まれるが、おいしいけれど味が違うと言われる。再挑戦を願った僕は、博識なマダムの孫娘千和に協力してもらい、スープの歴史をひもといていく。はたして客人が求めた一皿とは？全部で5つのスープが楽しめます。

みんなそれぞれに悩みあってるよね。

「あと少し、もう少し」

瀬尾まいこ／著 新潮社 2015年 913.6/174 リーナス



頼りない顧問のもと、中学生最後の駅伝大会に挑む陸上部部長の榎井。最後だからと優勝をめざし、勝てるメンバーを集めようとするが、くせもの揃いでなかなかうまくいかない。さらにタイムに伸び悩んでしまい…。

一区ごとにタスキをつなげる駅伝のように、それぞれの視点で語られていくストーリー。あったかいというより、熱い！です。

モフモフは正義。

「ねこ歩き」

岩合光昭／著 クレヴィス 2013年 645.7/1 リーナス



猫の写真集はたくさんありますが、岩合さんの猫写真は特別な感じがします。可愛らしいだけでなく、自然の中を生きる“ひとつの生命”としての美しさ・たくましさも猫の姿に表れていると思うのです。猫とともに街で暮らす人々に思いを馳せながら眺めていると、幸せな気持ちになります。貴重な一瞬を逃さない執念も素晴らしい。

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見に来てね☆